



## 市民プロデューサーを知っていますか？

中谷真弓

はじめまして。市民プロデューサーの中谷(なかや)真弓です。仲間入りをしたばかりだと思っていたらあっという間に半年が過ぎました。センターには、毎日さまざまな分野で活動をしている方々が大量来訪されますが、新しい出会いを大切にしながら日々学びの精神で頑張っています。私たち市民プロデューサーは、8人でシフトを組んで交代で勤務をしていますので日々の活動状況の連絡を密にして、共通理解を心がけています。詳しい活動内容は、ホームページでも紹介しています。各種イベント情報やNPO団体の情報、センターの利用案内等もありますのでぜひご覧下さい。

アドレスは <http://www.mienpo.net/center/> です。

もう少し時間があつたら、みえ市民活動ボランティアセンターまで足を運んでみませんか？さまざまな活動団体の情報ファイルが充実しています。自由に使えるパソコンも設置しています。午前9時から午後10時まで開いていますのでどうぞお立ち寄りください。

山本千賀

こんにちは、市民プロデューサーの山本千賀(ちか)です。

今年の4月から勤めて半年、初めて経験する事も多く、毎日が修行のようでした。(笑)私自身は文化・芸術分野での市民活動をしておりますが、普段、他の分野の方々とあまり交流する機会が無かったので、他の分野については知らない事が多かったのですが、

このセンターに来て、本当にいろんな分野でたくさんの方々が市民活動をされていることを知りました。現在は、皆様のそれぞれの活動に対する熱い思いを感じながら、日々、修行に励んでおりますので、どうぞよろしくお願いたします。

このセンターを活用していただき、皆様の活動の場が広がってほしいと思っています。例えば、単体では出来ない事でも、いろんな分野の方々とコラボレーションすることで、今までにない活動が出来たり、新しいネットワークが広がる可能性もありますよね。

そんなきっかけ作りの相談や企画等でお悩みでしたら、どうぞ、センターまでお越し下さい。八人八色?!の市民プロデューサーが、皆様の活動をサポートします。

## 【特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は5団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあつた団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体 (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地(平成15年8月13日~平成15年9月15日申請分)  
(1)木曾三川福祉会(2)三浦香弥(3)桑名郡多度町大字多度1075番地/(1)神社みなとまち再生グループ(2)中村 清(3)伊勢市神社港60番地/(1)ハートバランス研究所(2)橋本 諭(3)名張市桔梗が丘1番町6街区8番地/(1)G&R(2)小寺 貢(3)鳥羽市菅島町3番地/(1)あいの里(2)落合末次(3)桑名市神成町1丁目15番地

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)(平成15年8月13日~平成15年9月15日届出分)  
特定非営利活動法人 介護障害福祉事業団いきいき(平成15年7月18日)/特定非営利活動法人 二見浦・實日館の会(平成15年8月7日)/特定非営利活動法人 植物セラピー普及協会(平成15年8月12日)/特定非営利活動法人 ひかりサポート(平成15年8月28日)/特定非営利活動法人 ライフアカデミー(平成15年7月29日)

## ボランティアコーディネーターってなんだ?? ④ 野村希代

ボランティアセンターには、毎日さまざまな相談が寄せられます。コーディネーターにとって、相談業務は最も大切な仕事といえるでしょう。ボランティアをしたい人、ボランティアを募集したい人からはもちろん、ときには、ボランティアセンターはボランティアで相談にのってくれる機関だと思われている方もいらっしゃるようで、戸惑ってしまう内容のものもあります。そのような相談でも、ある程度までは、その方にとって本当に必要なところをご紹介することで解決できることがあるのですが、ときにはかなり深刻な声で「もう生きていても意味がない。死にたい。」という電話も。しかも一度や二度ではありません。そのときは、ひととお話を聴いてから、そのような相談を受けるNPOを紹介することもありますが、いろいろと話を聴いていると、相手も気持ちが落ち着いてくる様子がわかります。誰でも悩みごとや愚痴を人に聴いてもらっただけでスッキリしたという経験はありますよね。こういった相談を受けると、「聴く」ことの大切さを実感します。

市町村ボランティアセンターのコーディネーターも少なからずこんな経験があるようで、毎年のコーディネーター研修でも相談業務は欠かすことのできないテーマです。聴き上手になれるよう、コーディネーターたちは日々修業を重ねています。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

◆発行◆  
514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971  
E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
NPOチームのホームページ  
<http://www1.mienpo.net/npot>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大町7-15 津センターバレス3階)/オールウェイズ(津センターバレス1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/有)デザインオフィス萩野(津市大町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/鳥羽NPOネットワークセンター-結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市藤町4-17)/アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考房みなと(四日市市川原町26-13)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリット赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上9-4-4-5)/松坂大学(松坂市久保町184-6)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会  
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店  
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

# イベントスケジュール

## 「川づくり会議みえ」第2回勉強会

「秋の干潟観察会in高松海岸～みてさわってかんじて～」

- とき／10月11日(土) PM2:00～PM4:00
- ところ／川越町高松海岸 ●参加費／無料
- 内容／川づくり会議みえでは、会員を中心に「川」に関する勉強会を開催しています。(一般の方も参加できます。) 今回の会場、高松海岸は北勢地区に唯一残された自然海岸で、28haの砂質干潟が見られます。講師は水谷いずみさんです。
- 申込・問い合わせ先／久世 Tel.090-5637-0727
- E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

## プロジェクト“C”まちづくり講演会 「産業立地とまちづくり」

- とき／10月17日(金) PM2:00～PM4:20 ●参加費／無料
- ところ／亀山市文化会館中央コミュニティセンター
- 内容／三重県では、液晶産業の立地を契機として、プロジェクト“C”を推進しています。プロジェクト“C”は、フラットパネルディスプレイ産業の集積をベースにしながら、産学官の連携、既存産業の高度化を推進することにより、知識・情報産業を軸に技術革新等のイノベーションが次々と生まれるような産業構造に変革することを目指しています。さらに、住民・企業・行政が協働して、「住み続けたい」「住んでみたい」と感じられるような魅力ある地域社会を創造することを目指しています。この講演会では、魅力ある地域づくりを進めていくために、東京大学先端科学技術研究センターから大西隆教授をお招きし、「産業おこしとまちづくり～自立した地域の創造に向けて～」と題して講演いただきます。また、シャープ(株)三重環境推進センターの村谷利明所長からシャープの環境社会貢献活動の取組について講演をいただきます。住民・企業・行政の協働による地域づくりの取組をいっしょに考えてみませんか。
- 募集人数／250人(先着順) ●応募締切／10月14日(火)
- 申込方法／名前、所属または住所、電話番号を明記のうえ、郵送、Fax、E-mailで申込。
- 申込・問い合わせ先／514-8570 津市広明町13番地 三重県プロジェクト“C”等推進プロジェクトグループ Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2075 E-mail projc@pref.mie.jp
- ホームページ <http://www.pref.mie.jp/PROJC/HP/>

## キッズシアター 映画館で思い出に会う

### 『長靴をはいた猫 80日間世界一周』

- とき／10月18・19日(土・日) AM10:00～
- ところ／進富座(伊勢市 Tel.0596-28-2875)
- 参加費／1000円(市民活動・ボランティアニュース持参で800円に割引)
- 内容／キッズシアターとは、お父さん・お母さんたちが子どもの時に楽しんだ懐かしいアニメ映画などを、親子一緒に映画館で見てもらうという企画です。チラシ配布先はお問い合わせください。今回は東映動画の名作『長靴をはいた猫 80日間世界一周』上映。ひょんなことから「80日間世界一周できる」と宣言し、街の実力者と賭けをしてしまった猫のペロ。果たして勝負のゆくえは!
- 主催・申込・問い合わせ先／青春キネマ館&キッズシアター実行委員会 Tel.0596-28-4109またはTel.0596-23-0839 (受付時間PM7:00～PM10:00)

## 第1回エコツーリズムセミナー in みやま

- とき／10月19日(日) PM1:00～
- ところ／キャンピング海山(北牟婁郡海山町便ノ山271)
- 会場費／1人500円
- 内容／エコツーリズムとは、資源の保護、観光業の成立、地域振興の融合をめざす、新たな観光の考え方です。来年熊野古道が世界遺産に登録される予定ですが、これを契機に、東紀州地域を訪れる旅行者に向けて、魅力的な地域資源とのふれあいを永続的に提供する方法、地域の暮らしへどのように還元するのか、地域資源を守っていくにはどうするかなどについてよく考えることが大切だと思います。今回は、講師に日本エコツーリズム協会の山田桂一郎さんをお招きして、エコツーリズムについて学び、この地域での観光について熱い議論を交わしたいと思います。地域の振興についてご興味のある方

の参加をお待ちしております。  
●申込・問い合わせ先／第1回エコツーリズムセミナー事務局  
(森下) Tel.090-8731-8797  
E-mail morishtia7343@yahoo.co.jp

## まちのファンクラブ10月交流会(桑名)★★★ —手づくり仲間との交流会と一品持ち寄りパーティー—

- とき／10月21日(火) PM7:00～PM8:30
- ところ／桑名市今北町53手づくり屋2階  
(Tel.0594-23-0111 車は市営駐車場へ)
- 参加費／会員300円 会員外500円
- 内容／手づくり仲間は、それぞれ自分の持ち味を生かした作品をつくっています。つくることも楽しいのですが、その作品を観られた方が、作品に感動されたり共感されることが、作者の喜びです。自分を表現する作品づくりを通して、自分の人生を楽しむ生き方をする人の輪を広げていきます。そんな仲間とまちのファンとの交流会です。交流会の後で、一品持ち寄りパーティーを行います。飲んだり食べたりしながら、いろんな人と話すチャンス。友だちも連れてご参加を。交流会出席者ならどなたでもOK、参加費は無料です。ただし食べ物を一品5～6人分を持ちこんでください。(飲み物は有料)。
- 申込・問い合わせ先／桑名市中央町1-8 東和ビル2F みえきた市民活動センター内 まちのファンクラブ事務局  
Tel.0594-27-2700 (平日PM1:00～PM3:00)  
Fax.0594-27-2733 E-mail miekita@mie-kita.gr.jp
- ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>
- 主催／手づくり仲間、まちのファンクラブ

## 桑名市市民協働事業「協働セミナー講座」第4講 「リサイクルってくるくるまわること」

—誰がくるくるまわしていくの?ほんとに上手にまわってる?—

- とき／10月23日(木) PM7:00～PM9:15
- ところ／桑名市民会館 第3会議室
- 内容／毎月行ってきた「協働」の講座も最終講になります。桑名市では廃棄物を資源として回収・再生させる「桑名市リサイクル推進施設クルクル工房」を「特定非営利活動法人“輪”リサイクル思考」に運営委託しています。この桑名市と“輪”リサイクル思考のゴミリサイクル・減量へのとり組み事例を通して、テーブルトークと参加者のワークショップで、公的施設をNPOに運営委託する際の「協働の知恵」を考えていきます。パネリストは桑名英美さん(“輪”リサイクル思考代表、桑名市ボランティア連絡協議会会長)、新海洋子さん(“輪”リサイクル思考)、寺田卓二さん(三重県環境部環境創造活動チーム主幹)、近藤茂広さん(桑名市環境部廃棄物対策課課長)です。
- 申込・問い合わせ先／桑名市中央町1-8 東和ビル2F みえきた市民活動センター内 ふらっとホーム・クリエイターズ  
Tel.0594-27-2700 (平日PM1:00～PM3:00)  
Fax.0594-27-2733 E-mail flatoffice@miraiwork.jp
- ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/machijoho/koza/>
- 主催／桑名市市民活動支援室

## 科学技術振興センターテクノカレッジ 「第2回なるほど・なっとくセミナー」

- とき／10月25日(土) PM1:30～PM3:30
- ところ／アスト津3階イベント情報コーナー(津市羽所町700)
- 参加費／入場無料(事前予約不要)
- 内容／科学技術振興センターが日頃取り組んでいる研究の背景や研究内容に関わる科学技術など、県民の皆さんにわかりやすく解説します。今回は「変わりゆく環境や資源利用を考えよう」を主題とし、「県内の酸性雨の概要について」「形を変えて広がる木材の利用」「伊勢湾の100年」の3つを取り上げて、皆さんに紹介します。詳しくはホームページまで。
- 問い合わせ先／四日市市桜町3690-1(鈴鹿山麓研究学園都市センター内) 三重県科学技術振興センター総合研究企画部 研究評価グループ Tel.0593-29-3623 Fax.0593-29-8017
- ホームページ <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/topics/15tc.htm>

## 近づく東海大地震、つながるネットワーク

- とき／10月25日(日) PM1:00～PM4:00

●ところ／アスト津3階 イベント情報コーナー  
 (津市羽所町700 近鉄・JR津駅東口出ですぐ)  
 ●参加費／500円(お茶・お菓子付)  
 ●内容／今年は関東大震災から80年という節目の年に当たりませ  
 ず。東海・東南海・南海地震が近く起こるだろうと言われている現在、  
 県内各地で防災や災害救援を目的としたボランティアグループが立  
 ち上がり、活動がさかんになってきています。災害が起こったとき、  
 それぞれの団体が個別に活動するのではなく、ボランティアセン  
 ターを拠点にそれぞれが連携・協働しながら円滑に活動するために、  
 普段から顔の見えるお付き合いをしていきませんか?そのきっかけ  
 として交流会を開催したいと思ひます。講師はレスキューストック  
 ヤードの西田又紀二さん。「東海豪雨時のボランティアセンターにお  
 ける各団体の連携について(仮)」お話しいただきます。  
 ●申込・問い合わせ先／生活部NPOチーム(担当:森下)  
 Tel.059-221-5981 Fax.059-222-5971  
 E-mail morism02@pref.mie.jp

みえ・まんなか学のすすめ ~道しるべは旅人へのもてなし~  
**野辺野を歩こう**



●とき／11月2日(日) AM9:00~正午  
 ●ところ／久居駅噴水前集合  
 ●参加費／無料(ボランティア保険有)  
 ●内容／歩く、見る、学ぶ。久居の城下を道しるべでたどるウォーキ  
 ング。久居駅を出発し、野辺野神社、子午の鐘、高通公園、千手院賢明  
 寺、真光寺、玉淀寺とまわります。  
 ●申込・問い合わせ先／Tel.&Fax.059-255-2651  
 ●主催／みえ歴史街道構想津安芸久居一志地域推進協議会、なら街  
 道推進委員会

**ネットワークのよびかけ**

**第9回みえ県民文化祭事業「A×B×C」参加者募集**

商店街の近代化が進んで十数年、現在 その発展は足踏み状態とも  
 言われています。時代の流れとともに移り変わる商店街が、アート展  
 示でいつもと違った表情になれば、街の魅力の再発見に繋がり、芸術  
 文化イベントが街を楽しくするきっかけになると考えます。当日はベ  
 ルタウン全体を大きなギャラリーに見立て、さまざまな場所でアート  
 作品展示、手作り品販売などを行ないます。

【募集要項】  
 ●募集対象／プロ・アマ、ジャンル問わず。1日だけの出展も可能。  
 ●募集内容／『(1)アート作品展示部門』オリジナル作品を展示し  
 て、街を楽しく盛り上げてください。使用スペースの制限なし。販売  
 不可。入賞作品には賞金があります。  
 『(2)クラフトマーケット部門』アート、手作り品に限ったフリーマ  
 ケットです。1ブースサイズは2m×2m。販売ができます。  
 ●参加費／無料枠あり。(詳しい案内をご請求ください)  
 ●応募締切／10月20日(月)ただし、枠が埋まり次第終了。  
 ●申込方法／「ABC案内希望」と明記の上、郵便番号、住所、氏名、  
 年令、電話番号、E-mailを郵送、Fax、E-mailのいずれかで連絡。  
 ●申込先／515-0811 松阪市塚本町554-105号室 チャンネ  
 ルM Fax.0598-22-0908 E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

【第9回みえ県民文化祭事業「A×B×C」】  
 ●とき／11月2日(日)~11月3日(祝・月)  
 AM10:00~PM4:00(雨天決行)  
 ●ところ／松阪駅前商店街ビル「ベルタウン」  
 (松阪市日野町、松阪駅より徒歩1分)  
 ●参加費／入場無料  
 ●問い合わせ先／ABC事務局 Tel.090-3385-6958 E-  
 mail ch-m@m5.dion.ne.jp  
 ●主催／チャンネルM、みえ県民文化祭実行委員会、三重県文化団  
 体連合会、(財)自治総合センター、松阪市、松阪市教育委員会、三重  
 県、三重県教育委員会

**お互いに学び合う防災講座**

東海・東南海地震の起こる危険性が迫ってきたようです。皆さんはど  
 うやって備えていますか?今こそ、自分たちがそれぞれ自分たちでど  
 うやって災害から身を守るかを考えていく必要があります。災害の  
 知識と防災の知恵をお互いに勉強してみませんか?

【講座日程と内容】

第1回『防災とまちづくり~災害からみた地域のかかわり』  
 ●とき／11月15日(土) PM2:00~PM4:00  
 阪神淡路大震災から8年。神戸のまちは復興したが、そこに暮らす  
 人々は、毎日の生活の中で何を必要と感じ、どのようなまちづくりを  
 目指しているのか。話を聞きながら、私たちの暮らす町について一  
 緒に考えます。  
 第2回『地震に強い家づくりと補強のノウハウ』  
 ●とき／12月20日(土) PM2:00~PM4:00  
 地震による家屋の倒壊を防止するために気をつけなければならない  
 こと。家屋の補強のポイントや、家財道具の補強方法を、実践を交  
 えて勉強します。  
 第3回『PTSD心のケア』  
 ●とき／平成16年1月18日(日) PM2:00~PM4:00  
 突発的な事故や災害に遭遇したとき、人の心は傷つき閉じこもり、大  
 きなトラウマとなって立ち直ることができなくなります。この講座で  
 はPTSDや心のケアについて学びます。  
 第4回『地震から子どもを守るには』  
 ●とき／平成16年2月21日(土) PM2:00~PM4:00  
 災害弱者の子どもたちにはいざという時に、どこに注意すればいい  
 か、講師の体験談を交えて話しあいます。  
 第5回『地震の傷跡を見に行こう 根尾谷断層資料館の見学』  
 ●とき／平成16年3月20日(土) AM9:00~PM5:30  
 日本最大の根尾谷断層の見学。  
 ●参加費／無料(ただし、第5回は2000円)  
 ●ところ／第1~4回は桑名市総合福祉会館  
 ●募集人数／60人(先着順)  
 ●応募期間／10月15日(水)~11月13日(木)  
 ●申込方法／申込用紙に名前、住所、電話番号を記入し、ハガキか  
 Faxで申込。  
 ●申込先／511-0062 桑名市常盤町51  
 桑名市社会福祉協議会ボランティアセンター  
 Tel.0594-22-8218 Fax.0594-23-5079  
 ●問い合わせ先／桑名防災支援ネット(水谷慎吾)  
 Tel.090-6805-6589

**自然環境保全アドバイザーの  
データベースが完成**



NPO団体掲示板ホームページ内にあります。  
<http://www.mec.or.jp/gnpo/>  
 (財)三重県環境保全事業団のホームページからもリンクしていま  
 す。(http://www.mec.or.jp)  
 三重県の自然環境の保全や創造活動とその普及啓発を推進するた  
 めに、県内で活動されている指導者の方々に「自然環境保全アドバ  
 イザー」として登録していただきました。いろいろな団体等の要請  
 に応じてアドバイザーが機動的かつ適切な指導助言を行うことがで  
 きるデータベースを整備しましたので県、市町村、小中学校、高校、  
 事業者、NPO団体、環境活動に取組んでいる皆様方、大いに、この  
 データベースをご利用ください。  
 データベースの内容は次のとおりです  
 1.幅広く総合的な知識をもつ指導者と特定の専門分野の知識をも  
 つ指導者の部門に分け、さらに詳しい分野に分かれています。  
 (1)環境保全・創造活動支援部門  
 (2)専門的支援部門  
 2.地域別のアドバイザー登録者数を表にまとめました。  
 3.自然環境保全アドバイザー等を養成するためのフィールドも登録  
 されています。  
 (1)北勢地域・鈴鹿川流域  
 (2)中勢地域・雲出川流域  
 (3)南勢地域・宮川流域  
 ●問い合わせ先／(財)三重県環境保全事業団 環境創造活動支援  
 グループ(自然環境保全アドバイザー登録担当:飛岡、高橋、福田)  
 Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7518  
 E-mail gnpo@mec.or.jp

**食育作文コンクール**

近年、食や健康に対する関心は高いものの、自分の食生活に対する  
 自己管理能力の低下も危惧されるところであり、県は、「食事を楽し  
 みバランスよく食べる力」や「生きる力」を育む「食育」を推進して  
 いるところですが、食育には、家族や地域の人々との関わりや生活体  
 験などが不可欠であると思われます。そこで、県民の「食」に対する

実体験や思い、食を通じて感じたこと、伝えていきたいことなど「食育」に関する作文を募集し、県民の食育意識の向上と健康的な食習慣の確立を図ります。

【募集要項】

- 応募締切／10月15日(水) 消印有効
- 募集内容／家族や地域の人々との「食」に関する思い出、子どもたちや地域に伝えたい「食」、「食」を通じた考えたいライフスタイルなど、「食育」・「健康と食生活」に関する作文。
- 応募方法／400字詰め原稿用紙3枚以内にまとめ、郵送。別紙に住所、氏名、年齢・職業、電話番号を記入して、添付。
- 応募先／514-8570(住所不要) 三重県健康福祉部健康づくりチーム

あなたのパソコンつけましょ

★ パソコン“初心者”講座(仮称) ★



●とき・内容／

“どうしようかな” パソコン体験講座	パソコン、インターネットをしようかどうかを悩んでいる方や、パソコンを買ったものの、いまさら…と奮起されたい方向けの講座。インターネットサーフィン体験などを通じて、自分なりのパソコンとの向き合い方を発見していただく。	11/5・6・7 9:30~11:30 11/10・11・12 13:30~15:30
“これから” パソコン入門講座	パソコンをはじめようと思われる方で、まだ講習会などを受けられたことがない方向けのコース 入力、インターネット、電子メール+個別指導	11/10・11・12 9:30~11:30
“もういっかい” パソコン基礎講座	一回、基礎講座を受けたけど、もう一回、受けなおしたい、復習したい方向けの基礎コース。入力、インターネット、電子メール+個別指導	11/15・16 9:00~12:00 11/17・19・21 13:30~15:30
文字入力、デザイン、 印刷 “WORD”専門 初心者講座	「WORD」だけを集中講座。文字入力から、ちらし、年賀状などはがき作成までを講習。	11/17・19・21 9:30~11:30 11/8・9 9:00~12:00
えくせる?表計算 “EXCEL”専門 初心者講座	「EXCEL」だけを集中。表計算講座。	11/5・6・7 13:30~15:30
“みんなでホームページ づくりましょ” 体験・基礎講座	ホームページビルダーを使って、参加者みんなの共同作業でひとつのホームページを企画・取材・製作。この体験を通じて、ホームページづくりの基礎技術を習得していただきます。	11/8・9 13:00~15:00
出張“三重県民 ITサポート センター”	“無料”三重県民ITサポートセンターが、鈴鹿青少年センターにて相談受けたまります。	11/30 9:00~12:00

※ 出張“三重県民ITサポートセンター”はAM9:00~正午まで随時受け付けます。参加費は必要ありません。

※ 出張“三重県民ITサポートセンター”は初心者の方を対象としたサポートですので、ご了承ください。

- 対象／三重県在住の20歳以上の方
- 募集人数／各講座20人(応募者多数の場合は抽選)
- 受講料／2000円(テキスト代含む)
- 応募締切／10月19日(日) 必着
- 申込方法／所定の用紙にて申込。
- 申込・問い合わせ先／513-0825 鈴鹿市住吉町南谷口  
三重県立鈴鹿青少年センター  
Tel.0593-78-9811 Fax.0593-78-9809
- 主催／三重県民ITサポートセンター(みえIT市民会議)、三重県立鈴鹿青少年センター

# みなさんへのお知らせ

## 【NPOチームより】

NPO(ボランティア・市民活動団体等)からの協働事業提案の公開審査会が終了しました。

平成15年9月16日(火)にNPOからの協働事業として県に応募のあった提案内容について公開審査会を行いました。参加された団体も自分たちの提案ばかり主張するのではなく、他の団体の提案内容を聞いてうんうんと肯いている方もあり、最後は拍手で終了し、たいへん和やかな雰囲気の中公開審査会が行われました。

今回の採用の決定理由では、この協働事業提案募集のねらいが、新

しい協働のかたちを探ることが重要であるため、従来行われている協働事業の延長上で実施可能な内容でないことが挙げられました。全く新しい協働のかたちを今後関係チーム、NPOチーム及びNPOとで考えていくこととなります。今回採用になったのは、以下の3件です。

【採用事業(提案者)】

1. 高校年齢の不登校生に対する学習支援(特定非営利活動法人 三重にフリースクールを作る会)
2. 行政と民間(NPO)協働でつくる「子どものこころを受け止める24時間フリーダイヤル相談電話」設立に向けての段階的アプローチ(特定非営利活動法人 MIEチャイルドラインセンター)
3. 伊勢湾の浄化は小型船舶のトイレタンク設置(特定非営利活動法人 三重県トイレ協会)

今後のワーキングは興味のある団体は参加することも可能ですのでNPOチームまでお問い合わせください。

# 助成金 ニュース

## (財)国際コミュニケーション基金

●受付期間／10月1日(水)~10月17日(金) 必着

【1. 調査研究助成】

●助成の対象となる活動／国際分野を主軸とし、また国内も含めた情報通信の普及・発展、グローバル化、特にユビキタスネットワーク時代を先取りする調査、研究(法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野あるいは各分野にまたがるもの)。但し、通信事業者などの本来業務に該当するものは対象外とします。なお、助成・援助の申込者は個人の場合調査研究者本人、グループの場合代表者。

●対象事業の期間／調査研究が平成16年4月以降に開始され、平成19年3月までに終了のもの。

●助成の額／1件あたり300万円まで。15件程度。

【2. 国際会議開催助成】

●助成の対象となる活動／情報通信の普及・発展に寄与する国際会議。

●対象事業の期間／平成15年4月~平成16年9月

●助成の額／1件あたり100万円まで。10件程度。

【3. 社会的・文化的諸活動助成】

●助成の対象となる活動／情報化社会の動向に即し、電気通信を通じて社会や教育などに貢献する各種の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動。地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)につながる各種の活動、通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業、情報通信の普及・発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など。

●対象事業の期間／平成16年4月~平成17年9月

●助成の額／1件あたり100万円まで。10件程度。

●応募方法／申込書は下記へ申込み、ホームページからダウンロード。

●問い合わせ先／(財)国際コミュニケーション基金 163-8544 東京都新宿区西新宿2-3-2 KDDビル29階(私書箱第44号)

Tel.03-3347-7094 Fax.03-3347-6439

E-mail info@icf.or.jp ホームページ <http://www.icf.or.jp/>

## (財)朝日生命厚生事業団 数納(かずのう)賞

●受付締切／11月30日(日)

●賞の対象／児童の健全育成に関し、児童福祉施設(児童館、児童養護施設など)、地域組織(子ども会、母親クラブなど)、家庭相談員、里親などの活動の具体的実践報告。

●応募方法／A4版・横書き400字詰、30枚程度を厳守。黒のボールペンまたは黒インクを使用。ワープロ使用の場合は20字×20行横書き。原稿と別に、報告題名、住所・氏名(フリガナをつける)、年齢、職業、連絡先、電話番号を明記した用紙と報告の概要(400字詰3枚に要約)を添付。

●応募上の注意／応募原稿・添付資料は返却しません。すでに他団体の企画に応募した重複論文等については応募できません。

●受賞・数納賞1編(賞状と賞金30万円)、佳作4編(賞状と賞金各5万円)。なお、佳作に準ずると評価された報告は選外ながら特に数納賞奨励賞(賞状と賞金3万円)を設けます。

●選考基準／1. 活動の先駆性、普及性、社会的効果性。2. 地域(地域住民、各施設、行政など)との連携状況。3. 自己の活動への客観的検証。4. 文章構成における論理性。5. 実践記録としての価値。

●申込・問い合わせ先／(財)朝日生命厚生事業団

160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-14 Tel.03-3342-0604~5

# ハウジングアンドコミュニティ財団

住まいとコミュニティづくり活動助成

●受付期間／10月1日(水)～12月1日(月)必着(11月30日の消印有効)

●助成の対象となる活動／民間非営利組織(法人格等を問わない)が行う、住まいとコミュニティづくりに関する下記7項目の活動。なお、事業記録などの作成・出版、講演会・シンポジウムの開催なども含まれます。

1、探検・点検型の活動。2、施設の提案・創造型の活動。3、住環境の保全・整備型の活動。4、自然の保護・活用型の活動。5、入居者参加の住まいづくりを目指した活動。6、集合住宅の建て替え、増改築、大規模修繕をめざした活動。7、その他の活動。

●助成の期間／平成16年4月～平成17年3月31日

●助成の額／総額1000万円。1件当たり原則として100万円上限。

●応募方法／応募要項・申込書はホームページからダウンロードし、A4サイズの用紙にプリントして使用。郵送希望の場合は送料分の切手(1部につき140円)を貼り、郵送先を記入した返信用封筒(A4用紙が入る大きさ)を同封し、下記「活動助成係」まで請求してください。

●問い合わせ先／(財)ハウジングアンドコミュニティ財団

107-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階

Tel.03-3586-4869 Fax.03-3586-3823

ホームページ <http://www.housingandcommunity.ab.psiweb.com/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858

ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

## 桑名地区

まちのファンクラブ

510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階

Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

E-mail [fanclub@mie-kita.gr.jp](mailto:fanclub@mie-kita.gr.jp) ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

### 市民発 ごみを減らす！アクション・キャンペーン

昨年12月の稼働以来、さまざまなトラブルが続いていたRDF施設での爆発事故は、桑名員弁地域の人々にとっていろいろなことを考える機会となりました。自分達が出したゴミが、まわりまわってお二人の方を殺し何人もの方々を傷つけたという事実を、毎日の暮らしでゴミを出しているひとりの住民としてたいへん重く受けとめています。

そんななかで、「市民発 ごみを減らす！アクション・キャンペーン」がはじまります。「『なんとかして、ごみを減らしたい！』ひとりでも多くの方々と、ごみをテーマに話し、私のごみ、私達のまちのごみを減らす活動につなげていきたい』ということで、今後、学習会をはじめ、生活者である市民のアイデアで、ゴミを減らすアクションを続けていきたいとのこと。

呼びかけているのは特定非営利活動法人「輪」リサイクル思考、

たんぼぼ、エコメイツ、環境教育事務所 PEOPLE&PLACE、みどりの会、カップのおじさん、デポネット三重(9月11日現在)などです。ゴミを減らすためのいろいろなことをいっしょに企画しませんかと発信しています。(同プロジェクト連絡先 TEL・FAX0594-23-0021)

もちろんこのうごき以外にも、さまざまな市民の集まりでRDF事故に関連していろいろな議論や意見交換が行われています。

私もわがごととして今回のRDF事故を受けとめたとき、生活創造圏事業のひとつに位置づけられている「RDFインパクトを活かした地域づくり環境交流エリア構想」の見直しを市民活動団体と行政との「協働」で行おうと、三重県NPOチームの「協働事業募集」に提案しました。近くNPOチームが間にはいて北勢県民局とのあいだで話し合いを行う予定です。

ゴミについて、いろいろな人たちがそれぞれ、自分のフィールドでさまざまに考え、自分ができる試みを重ねていくことで、本当の資源循環型社会、環境共生型社会へと展開していけるのではないかと考えています。

## 北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと 常務理事 辻本晴美

Tel.0593-46-4581 Fax.0593-50-0203 E-mail [kobominato@yahoo.co.jp](mailto:kobominato@yahoo.co.jp)

### このごろのみなと

毎日何をしているのかわからん内に日が過ぎていってしまいます。ちょっと、反省を込めてこの一ヶ月何をしていたのか、思い出してみたいと思います。「みなと」と辻本個人の行動がごっちゃになっている点はおゆるしを。

- 8/22 \*韓国NPO28名 四日市市市民活動センター見学(一つの団体から28名も来られてびっくり!代表の海山がお話をさせていただきました。)  
\*理事松井、辻本「まちづくり条例研究会」参加
- 8/24 四日市市市民活動センターにおいて、NPO法人なんでも相談  
毎月第4日曜日 朝9時から夕方5時までやっています。大体毎回3件くらいの相談があります。平日も月～金1時から5時まで市民活動についての相談をお受けしています。
- 8/28 辻本、流域懇談会出席(四日市市内にある天白川、鹿化川の流域をどう風にしていきたいのかを話し合う会です)
- 8/30 名張にて青年会議所の総会があり、代表海山がコミュニティビジネスなどについて講演をしました。
- 9/1～12 インターンシップ受け入れ…名城大学法学部の三輪さんが市民活動センターに興味があるとのこととで来られました。藤原町在住。おとなしそうな方ですが、意見はしっかり。こういう人がNPOを目指してくれるとうれしい。受け入れられるように成っておかねば!

- 9/2 \*理事4名・会員1名にて知事に会いました。RDFのことやらで忙しい折に時間を割いていただきありがとうございます。私たちの目指していること、これからの課題についてなど一時間にわたって聞いてもらいました。  
\*辻本、流域懇談会出席(こちらは三滝川、海蔵川についての話し合いです)
- 9/3 Jファンドサポーターズシステム部会
- 9/4 伊勢新聞取材  
11月16日に予定している3県(岐阜・愛知・三重)交流フォーラムのことを話しました。これは市町村ベースの支援センターの基盤整備を目指して開催します。くわしいことは、チラシ・ポスターでお知らせします。ご参加、よろしくお祈りします。
- 9/10 辻本、男女共同参画リーディング委員会参加
- 9/11 日本総研・嵯峨研究員を迎えて、地域通貨の勉強会&交流会。嵯峨さんは、渋谷・アースディマナーの実践者です。(こちらは三重県との協働事業の一環です)
- 9/12～15 辻本、全国NPOフォーラム参加 出だしは雨というよりは台風の影響で豪雨。その中を小樽まで散歩。ピチョピチョ。そのまま会場へと行きました。こりゃ風引いたかなと思いましたが大丈夫でした。このあとも、地球温暖化対策委員会、新潟三条市への見学とつづきます。いろいろなことをごちゃごちゃやっています。みーんな市民活動支援につながると思っています。ですのですけれども…皆様の評価は如何に?

# W.T.Aまがくりセンター情報

〒518-0866 上野市小玉町3045-1  
 tel:0595-24-7612 090-3302-0627  
 fax:0595-22-0072 代表:中盤 江  
 E-mail: nagaki@230@ezweb.ne.jp

センターのIT-タイ番長がかりました  
 (日誌) 9月08日  
 先月より、今月まで、  
 先月から、今月まで、  
 はまるとす...

Docomo  
 おかーい  
 518-3302

090  
 3302  
 0627



## ボウタイP. 市民活動相談&交流会

当センターと社協と  
 県民局の各NPO等と  
 協働を進めています!  
 今月11日活動が、これから  
 12月11日活動が、何れも  
 3相談下さい!!  
 お待ちしています!!

10月20日(月)  
 18:30~  
 伊賀町社協

会場を伊賀の社協を  
 順にまわります。  
 先月は、現在の活動  
 のお悩みをお聞きし  
 ました。皆さんが日々  
 いろいろ活動中にとり  
 くまれていること、ホッ  
 とです。おたがいに  
 元気に活動してい  
 たいです!!

いろいろ変更ありませぬ。今後ともよろしく!!

10月23日、24、25日は上野の秋のおまつりです。  
 けいこうにきつきます。お時間のあき方はぜひ足取  
 はこび下さいね!!

作品展のお知らせ  
 10月24日 10~22時まで  
 25日 9~21時まで 当センターにて。  
 ミニものの100着をかざっていただきます。30分お  
 2時間くらいご参加できる有料講習会もあります。  
 ぜひいらして下さい。

伊賀市立図書館  
 先月、オープニングイベントに  
 参加してきました。約2000人  
 集まりました。今後は  
 毎月第一日曜日の10~17時  
 オープンです。一度  
 ぜひに、行って下さい!!  
 ・津市、伊賀市、四日市、富田の  
 ミニ鉄道(株)内  
 tel:0593-64-2141  
 ・運営幹事団体ホームページ  
 http://furutetu.hp.  
 infoseek.co.jp/

常設23BOX X-BOX 募集  
 のびのびに作りつ、ホッとして  
 できました!!  
 ちびBOXの1コマ分が月200円  
 となります。お申し込みは  
 してあります!!

いろいろ、こまごま、あつたあつた  
 いろいろ、あつたあつた... いろいろ  
 かんじとあつた!! 市町村合併へ  
 向けのものも、あつたあつた  
 しているところへ、いろいろ  
 方面もいろいろあつたあつた...  
 感じたり。数年後、まちあつたあ  
 ちびんが、あつたあつた。あつたあ  
 ちびんが、あつたあつたあつたあ  
 ちびんが、あつたあつたあつたあ

# 南勢地区

■メイキング・オブ・伊勢市民活動センター——来年の本格始動を目指して、只今進行中! 稼働中!

## 「いせ市民活動センター運営方針案」ができました!

●市民有志による準備会と、担当職員とが共に進めてきた検討会  
 もいよいよ大詰めです。5回目の会議の内容は...

### 【第5回/8月】「センター運営方針案」を最終検討

1~4回の会議で話し合ってきたことを準備会で整理して「運営  
 方針」として1枚の表にまとめました。第5回目はそれを見て、補  
 足や意見交換をしながら、市に最終提案する委託運営に最低限必  
 要と思われる内容(カタチ)を確認。

また、この検討会で、施設が1階だけでなく2階の同等のスペース  
 も、市民活動センターとして利用できるようになったということが  
 発表されました(外階段で、フロアは独立しています)。その  
 利用方法についても新たに意見交換をし、1階は、情報、交流ス  
 ペース、ワークスペースとして利用し、2階は、少し広いスペースや  
 登録団体の共同事務所にするなど、既存の他施設にない機能が欲  
 しい、ということが意見として集約され、運営方針に追加される  
 こととなりました。

そして、ここで確認された運営案をもとに、再度準備会で提言  
 書として市民の意見をまとめ、検討会の最終ゴールへ! それを  
 伊勢市に提出したら、次は伊勢市がそれを受けて「条例案」をつ  
 くります。このあと、第6回を持って検討会はいったん解散。次の市  
 民参加のステップとして「運営会議(仮称)」が設置される予定です。

→次号へ続く

誰のための場所?  
 何ができる?誰がやる?  
 そこに何がある?

市民と市職員による検討会議で考える市民活動センター  
 「公設民営」で、市民による市民のセンターをつくる  
 ...という伊勢市の計画に、条例づくりから市民参加で!  
 と始まった検討会議。目的は、利用する市民が使いやすいよう、活きた施設にな  
 るように「みんなが望むセンター像」を具体化し、そしてそれを伊勢市の条例に盛り  
 込んでもらうことです。

## 伊勢市民活動センター(仮称) 準備事務局の最新情報!

### ■ITサポートで来所者アップ!

8月より、みえIT市民会議・伊勢志摩地域連絡会との協働で  
 「ITサポート」事業/相談窓口(写真)を設置したことにより、  
 センターへの来所者が急増。もちろん、ITサポートの利用者  
 が多いわけですが、それでこのセンターを知ったことで、その  
 後別の活動で利用していただく方もいて、認知度が高まるにつ  
 れ利用者は増えていくといえそうです。(現状は仮オープンなの  
 で、設備も十分とはいえ  
 ないため、あまり広く存  
 在をアピールする機会を  
 設けていません)



「ITサポート」事業は、  
 好評につき、来年3月ま  
 で継続することとなりました。

※尚、開館時間内の施設への出入りはフリー。市民活動の情報展示がされて  
 いるので、情報収集などに利用を。

【伊勢市市民活動拠点施設設置準備事務局】  
 住 所 伊勢市岩淵1丁目2-29 伊勢シティープラザ南館  
 電 話 0596-20-4385  
 開館日 月曜~金曜(祝日、年末年始は除く)  
 時 間 午前9時~午後5時

※お問合せは...伊勢市 市民交流課 Tel0596-21-5549まで

このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会 が担当しています  
<http://www.po-npo-n.com>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。「子どもたちに生きる力を備えて欲しい」と語る高橋正さんが「この人はスゴイ」と推薦してくれたのが出口省吾さん。教師として赴任した大安中学校にテクニカルボランティア部を設立しました。

**技術系ボランティア、テクボラ部登場!**

……出口さんが環境問題に興味を持ったきっかけは?

10年ほど前、前任校である東員第二中学校で、私は文化祭で行う演劇のために脚本を書いたり、演出をすることを楽しんでいました。演劇が大好きで、たくさんの芝居を見ていたなかで出会ったのが北海道富良野塾が上演した倉本聰さん作の『イングル』という芝居です。この芝居を見て「21世紀はこれだ!物の豊かさよりも、心の豊かさを大事にしなくてはいけない時代なんだ!」と思いました。それで自分も、心の豊かさを求めるような活動をしたいという思いを持ったのです。

……実際に行動に移されたのですか?

最初は演劇で表現しようと思い、テーマにそった脚本を創り上演してきました。しかし年に一回、しかも限られた時間の劇を上演するだけでは、自分の想いが広がっていかないと考えるようになりました。この活動は学校内だけでなく、地域など広い範囲で伝えていく必要がありますから。そんな時、現在の大安中学校に転動したのですが、この学校には文化祭が無くて。がっかりしました。

……それで次に考えたのが?

教師という職業柄、学校というフィールドで、子どもたちと一緒に、日本の森を始めとした環境のことを考え、間伐材などの廃材を使って何かをつくらうと考えました。それで設立したのが、テクニカルボランティア(以後、テクボラと略)部です。

……どうして、その発想が生まれたのですか?

ゴミ焼却場に捨ててあった大きな丸太がきっかけです。職員に話を聞くと、庭の木を切ったが、使い道も無く、邪魔になったから捨てて行った。そして、廃材や間伐材もよく捨てられているというんです。変な話ですよ。我々の親やその前の世代が一生懸命、山に植えた木を私たちの世代が捨ててしまい、活用しないなんて、どう考えてもおかしいでしょう?それで、森を見直す活動を自分なりにしてみたいと思い、何ができるか考えた時に思いついたのが廃材を利用した木工です。間伐材でベンチなどをつくって、たくさんの人に贈ったり、役立ててもらおうと同時に、「実はこの木は捨てられていたんですよ」と話せば、みんなに捨てられる木からも役立つものがつくれる。森は資源、宝物なのだと思ってもらうこともできるでしょう。そして、それが環境保全活動に発展していったらいいなと思いました。

**大安中学テクニカルボランティア部顧問**

**出口省吾** さんに  
聞く!

……赴任してすぐにテクボラ部をつくったのですか?

すぐには無理でしたので、校長先生や職員会で部をつくりたいと話をするなど、1年間企画を温めていました。部活動の中には文化的な側面や、人の為に汗を流した活動が認められる場面も必要だと思います。テクボラ部なら、それができるとし、運動部を途中で退部した子たちの受け皿にもなると考えました。

……テクボラという名前は出口さんが考えたのですか?

職場の同僚が考えてくれました。ただ「テクニカルボランティア」では長ったらしいので(笑)、テクボラという言葉をもっと浸透させたいと思っています。

……主な活動は廃材を利用した木工ですよね?

テクボラ部は「ボランティア」「物づくり」「森を見直す」「地域との交流」「リサイクル」「国際貢献」の6つを活動の柱にしています。木工をすることで、リサイクルや森を見直すことになり、作品を町に寄付したり、木工教室を開くことで地域との交流を深めています。

……国際貢献とはどんな活動?

昨年の10月から今年の8月まで、県内外のキャンプ場などにベンチ等を販売し、その収益金25万円ほどを大阪の(社)アジア協会アジア友の会(JAFS)に寄付しました。現在、このお金でカンボジアに井戸を掘ってもらっています。国際貢献活動のきっかけは大安中学に来た英語のアシスタントティーチャーがインド出身で、彼がアジアの貧しい人たちのことを話してくれたことでした。水が安全でないこと。生きるために森を伐り、砂漠が広がっていること。働かなければならないため学校へ行けない子どもたち。近くに水がないため、女性や子どもたちが遠くまで水くみに行く…。そんな話を聞くうちに、自分たちでできることをしようという気持ちになったのです。

……木工についてお聞きしますが、もともと出口さんは木工細工などが好きだったのですか?

私が得意なのは機械工作の方。自動車を直したり、部品交換するのが好きです。実は木工をしようと思ったのは、自分が直した自動車が縁となったログハウスの職人さんとの出会いがきっかけ。私が直して乗っていた珍しい古い車を譲って欲しいと、その方から頼まれたんです。その後、ログハウス建設のお手伝いに行くようになり、自分なりにログハウス木工を覚えました。テクボラ部で中学生に伝えているのは、ログハウス木工を簡単にしたものなのです。

……ログハウス木工というとチェーンソーなどを使うのですか?

材料が間伐材などの丸太ですから、チェーンソーを使わないと無理ですね。少しぐらい隙間が開いてもいいじゃないかというアバウトなつくりです。これなら中学生にも受け入れてもらえると思います。

……中学生がチェーンソーを扱うのは難しくありませんか?

テクボラ部ができて今年で6年目になりますが、今まで大ケガをした子は一人もいませんよ。機械には使い方があります。それを教えて、きちんと守れば、危いと言われる機械でも大丈夫。電動カンナ、丸ノコ、溶接機なども使いますが、そういう機械を操れることを誇りにしている生徒もいます。

……部活動の時は必ず、出口さんも参加されるのですか?

危険な道具も使いますから、そばにいます。使い方がまずい時や集中していない時は、止めたり叱りますよ。安全のための細かなルールも決めています。夏に暑いからって、軍手をしていなかったりす

ることもあります…(苦笑)。

……つくるものは生徒たちが決めるのですか？

依頼が集中する時期があるので、そういう時は同じ物ばかり、いくつもつくりまわすね。

……依頼が来るのですか？

一番多いのが大安中学から頼まれるものです。今年は体育祭の入退場門や看板などを頼まれました。あと、球技大会などの優勝口フイーとか、教室前のベンチ。それ以外だと幼稚園からウサギ小屋や園児が遊ぶ家、祭の台車などを頼まれましたよ。それに毎年、地域の社会福祉協議会に30〜40脚ほどベンチを寄付しています。6年間で作品数合計は1070個、そのうちベンチは350脚です。

## 物の豊かさよりも、心の豊かさを大事にしないといけない時代なんだ！

……すごいですね。そのベンチはどこに行くのですか？

社会福祉協議会から自治体に配られているので、ゲートボール場とか公園、お墓にも置いてあったそうですよ(笑)。そういった依頼がない時には生徒たちが自由に、自分の発想で木工をしています。だから創造性も身に付くんじゃないかな。

……出口さんがつくる物のアイデアを出したりはしないのですか？自然環境に関わる活動を始めてから、いろんな方と知り合い、交流や情報交換もしています。木工の専門家もいますから、よく参考に、それを伝えたりしています。良いものをつくれれば、人も集まってくるので、情報発信の機会もできますからね。

……活動が木工に集中しがちですが、それだけでなく環境と人との関わりという、出口さんが感じられたことを子どもたちに伝えるような活動は？

今年は2泊3日のキャンプの中で林業体験を行い、林業家の方の話を聞いたり、枝打ちや下草刈りをしました。また、地域の人とふれあうために親子木工教室などに指導者として参加しています。先日は員弁町の親子木工教室で、木の笛とバッジなどをつくりました。その他、環境フェアなどに参加したり、いろいろ見学にも行っています。ですから普通の中学生よりはちょっとだけ環境に対する意識は高いかなと思っています。

……部員は何人？

3年生も含めて12名です。あと卒業生も時々顔を出してくれて、いろいろ後輩の世話をしてくれます。みんな本当に仲いいですよ。

……学校内での波及効果はどうですか？

年1度、学校からは生徒会を通じて、感謝状をいただいています。

……部員数も増えたのでは？

世の中全般の傾向だと思いますが、ボランティアというのは日本ではまだまだ受け入れられていないと感じますね。特に中学生の子を持つ親御さんたちは、中学時代は運動部に入ってスポーツをさせたいと考えている方が多いです。ですから今の日本には、ごく自然にボランティアできる雰囲気が必要だと思います。ボランティアを始めるのは勇気がいりますよ。特に今までのボランティアは、たとえば介

護ボランティアなら人に会わなくてはいけないなど、積極性が必要です。でも、テクボラなら、人と話をするのは苦手という子でも、気軽に参加できます。私はこんなボランティアがもっとあってもいいんじゃないかという提案もしているつもりです。また、木工などの技術的なボランティアというの、あまりありませんからね。

……町内や他の学校への波及効果は？

近隣の中学校のうち4校が選択授業等で間伐材ベンチをつくる活動をしたそうです。小学校からも見学に来て、小学生が間伐材で家を建てたそうですよ。学校以外では町内の方々と、間伐材を使って公園の東屋や水車小屋をつくらせています。私たちの活動がヒントになったのかどうかはわかりませんが、身近で間伐材を利用した活動が出てきたのは嬉しいですね。

……大安中学校以外にもテクボラ部はあるのですか？

聞いたことはないですから、たぶん他には無いと思います。もし、あるならば交流したいですね。

## 手づくりの人力自転車発電機がイベントで大人気

……テクボラ部以外に、個人的な活動はされていますか？

先月、登場された高橋さんと知り合った、四日市市にある三重県環境学習情報センターが主催した「エコ交流会」や「環境学習サークルみえ」に参加しています。「エコ交流会」は各地で活動してみえる方々の情報交換や協力の場なんですけど、現在はあまり活動していませんね。ここの活動のひとつとしてテクボラ部員とともに、度会郡の小俣祭で、通行人と間伐材ベンチの組み立てを行いました。その他、鈴鹿ベルシティ夏休み親子木工教室でNPOに協力しました。

……「環境学習サークルみえ」はどんな集まりですか？

三重県環境学習情報センターが行った「みえ環境学習セミナー」を受けた人たちの集まりです。ここで、自転車に車の発電機を取り付けた人力発電装置を3つ作りました。この人力自転車発電機には、それぞれ大人用として60Wのテレビ、小学生用に26WのCDラジカセ、幼児用に電球6個12Wが繋いであります。自分で自転車をこいで電気をつくるのは大変なことなんです。これを体験することで、普段なにげなく使っている電気のありがたみを知ってもらいたい。そして、この体験がその後の節電につながれば…と考える。環境フェアなどのイベントに持っていったりしています。今年は10月11日、12日に行われる「NHK津放送局 会館公開」、10月26日「海山町環境フェア」、11月9日「つ・環境フェア」にも参加します。近くの方は体験しに来て欲しいですね。「NHK津放送局 会館公開」ではテクボラ部も参加し、間伐材ベンチと笛づくり体験をするほか、手づくり和太鼓と木太鼓でオリジナル曲の演奏もします。

……自動車の改造が好きという趣味が生きていますね。

ええ。使っているのは、ほとんど廃物ですから、自転車から発電機までもらってきて、改造しました。結構、日数はかかりましたよ。でも、楽しかったです。

員弁郡大安町立大安中学校テクニカルボランティア部

住所/511-0264 員弁郡大安町石樽2977

Tel.0594-78-0185 Fax.0594-78-3840

E-mail syogo@m3.cty-net.ne.jp

出口省吾さんはこの人を紹介します。

大西かおりさん

宮川村にある大杉谷自然学校の主任スタッフである大西さん。自然体験教室などのイベントも行っています。



大安中学テクニカルボランティア部の皆さん。

間伐材を利用したベンチです。

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。

R100

PRINTED WITH SOYINK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。